

子宮頸がんの予防ワクチン

高校1年生に相当する女子に

助成対象者に郵送にて通知



栃木県大田原市で行われた全国初となる子宮頸がん予防ワクチンの集団接種
(インターネットより)

12月補正予算の状況

会 計 名	補 正 額	補正後の予算額
一般会計(第2号)	△ 7170 万円	262 億 1559 万円
一般会計(第3号)	986 万円	262 億 2545 万円
国民健康保険	△ 571 万円	92 億 8466 万円
介護保険(保険事業)	313 万円	37 億 9405 万円
公共下水道	△ 85 万円	18 億 2075 万円
後期高齢者医療	487 万円	12 億 9733 万円

一般会計と4つの特別会計は、12月10日の本会議と各常任委員会に付託され審議されました。
その結果、付託された議案はすべて可決すべきものと決定し、最終日に開かれた本会議で可決しました。
子宮頸がん予防ワクチン、中学1年生へのヘルメット支給の廃止や受診者の少ない特定健診など、いくつかの質疑を取り上げ、内容を要約してお伝えします。

特定健診 PR不足では

問 特定健康診査等事業費が950万円の減額です。今年度の目標は何人ぐらいでしたか。また、実際の受診者数は。

保険医療課長 過去、旧3町とも特定健診の計画を作っていますが、平成22年度は、約9200人が目標です。実際の受診者数は、12月7日現在で、4911人です。

問 目標の6割程度ですがPR不足ではないですか。

保険医療課長 いろいろと工夫はしていますが、なかなか市民の意識が盛り上がってきません。今後も努力していきます。

問 子宮頸がんの予防ワクチンの対象者は、市では高校1年生に相当する年齢の女子だけです。対象者の保護者へはどの

ように周知されますか。

また、子宮頸がんの交付金は、22年から23年度の2カ年の予算であると思いますが、それ以降も市としては継続していく予定ですか。

市民生活部長 開始時期と予算の関係でも、今回は高校1年生の女子に限らせていただきました。新年度は、当然、拡大方向で検討しています。

周知方法は、対象者全員の方に郵送にて通知します。国の補助が23年度打ち切りということですが、努力して継続していきたいと思っています。

問 1回当たり5000円の助成額ですが、接種費用はいくらですか。

健康推進課長 今、市民病院で、子宮頸がんワクチンを

接種しますと、3回で4万3300円ほどかかります。

問 かなり高額です。他市町村では全額助成を実施している市町村もありますが、今後、全額助成をする予定はありますか。

市民生活部長 そのあたりは財政部局との協議になります。

平成22年度子宮頸がん等ワクチン接種費用助成一覧

ワクチンの種類	対象者	接種回数	助成額(1回)
子宮頸がん予防ワクチン	高校1年生に相当する年齢の女子	3回	5,000円
ヒブ(インフルエンザ菌b型)ワクチン	生後2か月以上7か月未満に開始	4回	2,500円
	生後7か月以上12か月未満に開始	3回	
	1歳以上5歳未満に開始	1回	
小児用肺炎球菌ワクチン	生後2か月以上7か月未満に開始	4回	3,000円
	生後7か月以上12か月未満に開始	3回	
	生後12か月以上24か月未満に開始	2回	
	2歳以上5歳未満に開始	1回	

通学ヘルメット 支給廃止へ

問 交通安全用具、140万3千円の減額となっています。ヘルメットの着用義務はどうなっていますか。なぜ、ヘルメットが支給されないのですか。

学校教育課長 通学規程、校則において、通学クラブなど自転車に乗る場合、着用義務を定めています。徒歩通学については、義務化していません。

旧3町では、美和町は保護者の方で負担をしていたという状況、近隣市町の状況、旧美和町の状況、市の財政上厳しい状況ですので、保護者で負担願える分については、お願いし減額しました。

問 ヘルメットを購入する場合、旧3町で価格が

違うのはおかしい。同じ市であれば価格や形、安全基準を統一すべきではありませんか。

教育長 ヘルメットには現在、校章があり各校で違いがありますが、どういったものがあるのか、PTAなどの意見を聞き、検討していきます。

問 現政権では子ども手当は、全額国が持つと言っていたのにもかかわ

らず、地方の持ち出しが出てきています。1億円にもなる持ち出しは、異常だと思えます。国が負担をするよう声を上げるべきでは。

市長 市長会、地元国会議員にも陳情、要望を出しており、市長会を通じて国と交渉しています。

問 ゼロ歳児の入園申し込みで、抽選に外れたとの声を聞きました。待機児童にあたりませんか。

子育て支援課長 この申し込みは、職場復帰後の入園予約の枠を確保する制度で、抽選に外れただけでは、待機児童にはあたりません。

市には、13園ありますが、この園の定員に余裕があるにもかかわらず、この園しか行きたくないなど、保護者の私的な理由により、待機している場合も、待機児童には該当しません。



ヘルメット着用で自転車通学